

中部防災ニュース 平成30年9月号

発行
静岡県中部地域局
 電話(054)644-9104
 メールchubu-kiki@pref.shizuoka.lg.jp

重要です！風水害対策

7月の西日本豪雨をはじめ、今年も日本各地で記録的な大雨による被害が相次いで発生しています。また台風は8月末の時点で20号を超える勢いで発生しており、これまで以上に風水害対策の重要性が高まってきています。風水害から大切な命を守るために、各家庭・職場で対策に取り組みましょう。



西日本豪雨による広島県の被災状況（中部地域局職員撮影）

日頃からの備え



- ・自治体が発行している**ハザードマップ**等で自宅や職場周辺の**洪水・浸水・土砂災害等の危険箇所**を確認する。
- ・自宅や職場周辺の**避難所や避難経路**を確認する。洪水や土砂災害等の**災害種別ごとに避難所が異なる場合があります**ので、注意する。
- ・停電や避難所での滞在等に備え、必要な**資機材や備蓄品等**を事前に揃えておく。
- ・職場の**BCP**を確認する。（広島県HPによると、調査した県内618の事業所のうち、8月17日現在、147事業所で操業停止等があったとのことです。）

等

大雨等の前は...



- ・より安全な避難行動をとるために、テレビやラジオ、インターネット等で**最新の防災気象情報**を確認する。
- ・**道路や交通機関の状況**を確認する。（状況によっては、出勤・退勤時間や通勤方法の変更等により、帰宅困難者対策をとる必要があります。）
- ・雨や風が強くなる前に、物が飛ばされたり壊れたりしないように**片付けや固定等の対策**をとる。

等

大雨等の時は...



- ・防災気象情報に加え、**市町が発令する避難情報**もチェックする。**避難情報が出たら速やかに避難行動**をとる！
- ・避難情報が発令されなくても、身の危険を感じる場合は進んで避難を開始する。（自宅や職場の立地条件、家族構成等に応じた**各自の主体的な判断による早めの避難が大切です**。）
- ・避難所への移動によりかえって命に危険が及ぶ状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅・職場内のより安全な場所に避難する。

等

「自分だけは大丈夫」「今まで大丈夫だったから、今回も大丈夫」ではなく、「今回は危険かもしれない」という防災意識をもち、逃げ遅れを防ぎましょう。



「サイポスレーダー」で情報収集

防災情報をお伝えするサイトやアプリはいろいろあります。ここでは、その選択肢の一つとして、静岡県内の河川の水位、雨量、防災、気象情報が得られる「サイポスレーダー」を紹介します。

ピンポイント天気予報

市町村別の1時間ごとの天気予報が確認できます。このほか、週間予報も見られます。



雨量・水位グラフ・河川監視カメラ

雨量計や水位計の観測値をグラフにより分かりやすく表示しています。大雨時や台風接近時などは決して川に近づかず、こちらの情報や「ライブカメラ」で現在の状況をご確認ください。



他にも...

発表中の気象注意報・警報や台風情報等を確認できます。また国交省等のHPへのリンク集があり、防災情報全般を収集できます。

スマホ等でも見られます

パソコンはもちろん、スマートフォン等でも確認できます。スマホの場合は専用表示になり、見やすく操作も簡単。

スマホ専用画面→



パソコン・スマートフォンから
<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>



携帯電話から

<http://sipos.shizuoka2.jp/m/>



「静岡県GIS」で調べてみよう！

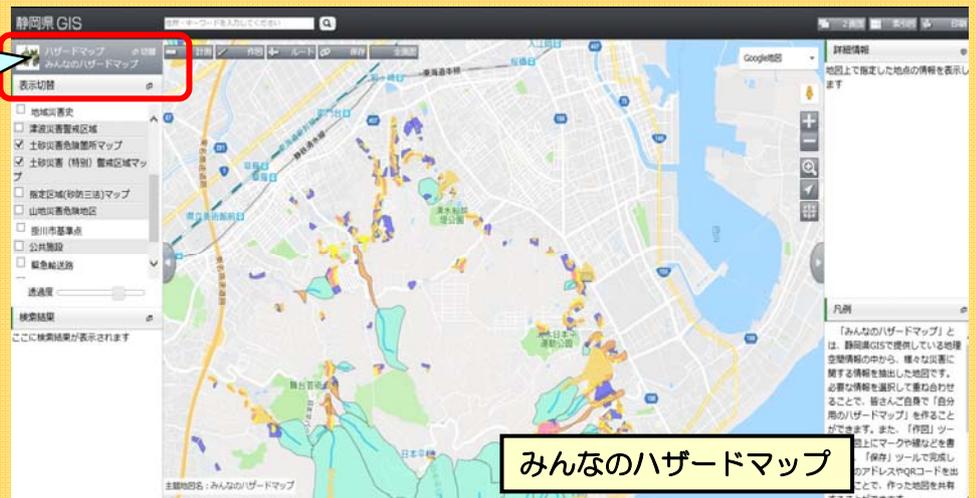
県では、WEBサイト「静岡県GIS」で地域の被害想定を公表しています。震度・津波・液状化の被害想定区域の他、土砂災害の危険箇所や洪水や浸水の想定区域が確認できます。自宅や学校・職場の周辺の危険度を把握する際に、ご活用ください。

①検索サイトで「静岡県GIS」と検索し、表示された「静岡県地理情報システム」にアクセスします。

②ここをクリックして地図を「みんなのハザードマップ」「土砂災害情報マップ」「洪水浸水想定区域図」等に切替えます。



洪水浸水想定区域図



みんなのハザードマップ